

# 「備後国府」遺産発掘プロジェクト ～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

日 時 令和4年10月26日(水) 第5校時

場 所 6年1組教室

学 級 第6学年1組(34名)

## 1 単元のデザイン

### 本単元の目標

備後国府跡の発掘調査に関わったり、備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組を行ったりすることを通して、自分が住む地域で生まれ受け継がれてきた歴史や文化を理解し、その伝承に取り組む人々の思いや願いに気づき、その伝承を願って地域の一員としてできることを考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

### 単元観

市名となっている「府中」は、「備後国」の「国府」が設定されたことに由来している。今から1300年前、全国は約60の「国」という行政単位に分けられ、国ごとに「国府」が置かれた。市の発掘調査によって、国府に関する遺構や遺物が確認され、校区内に国府の重要施設が所在していたことが明らかになり、平成26年に、備後国府跡として「金龍寺東地区」と「ツジ地区」が国の史跡に指定されている。「府中市ランドデザイン」によると、史跡備後国府跡整備基本計画の策定と、史跡及びその周辺の具体的な保存や活用について計画が進んでいる。「史跡の保存・活用をはじめ、府中の古代・中世の歴史や文化についての記憶を継承し、市民に日常的に親しんでもらう」という戦略目標が立てられ、指定地を市民や子供たちの学習や憩いの場やイベント会場、遊び場とする等の整備・活用が考えられている。しかし、現状として備後国府と聞いて具体像を語るができる人や発掘調査が行われていることを知る人は少ない。

そこで、本単元は、備後国府に関わる活動を通して、地域に対する関心を高め、先人たちの営みの積み重ねの上に今の自分たちの生活が成り立っていることを知り、地域への愛着や誇りをもち大切に思う心や人と人とのつながりの大切さ、伝統や文化を守り、伝承していくこうとする態度を育み、自己の生き方を見つめることができるようにすることをねらいとする。本単元の学習を通して、児童は歴史や文化のすばらしさやおもしろさを知り、広めていこうとする。よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題に出会うことにより、「自分の力で解決することができた」、「自分が学習したことが地域の役に立った」等の、課題の解決に取り組んだことへの自信や自尊感情が育まれ、社会への参画意識も醸成されると考える。

### 児童生徒観

事前の意識調査の結果は以下の通りである。

	内容	肯定的評価
①	総合的な学習の時間は、前向きに取り組もうと思います。	100%
②	自分で課題を設定しています。	84%
③	課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	87%
④	情報を比べたり、仲間分けしたり、関係を見付けたりして、何が分かるのか考えています。(必要に応じた思考ツールの活用)	70%
⑤	自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	90%
⑥	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したこと等の理由」を考えています。	81%

以上の結果から、本学級の児童は、④集めた情報の整理・分析をする際に、思考ツールを活用することの有効性を感得し、様々な課題解決において適切かつ効果的に活用することに課題がある。どのような対象や場面の、どのような課題解決に、どのような理由で、どのような思考ツールが有効なのかを考え、実際に試し、うまくいったりうまくいかなかったりする経験が少ないことが原因であると考え。また、どの児童も、これまでの学習に主体的に取り組んできたが、書籍やインターネットから情報を収集する姿が多いことから、対象と関わる時間を十分設定した単元構成にし、情報収集方法を再度示す必要がある。そして、よりよくしようと改善する力は不十分といえるため、困難に直面したときにどのように解決するか考えたり、失敗を乗り越える経験をさせたりすることで、達成感や自信をもたせ、ねらいとする力の育成を図る。

### 指導観

○課題の設定では、問題事象に直接出会い向き合う場面を設定したり、探究課題に関する専門の方と連携したりすることで、疑問や驚き等から問題を見いだす等を、これまでの児童の考えとのずれや隔たり、対象への憧れや可能性を感じさせるようにする。

○何を、どのように考えさせたいのかを明確にして思考ツールを活用することで、分析しやすい、可視化され共有しやすい等を実感できるようにする。

○様々な課題に対する解決方法や学習計画を児童が考え実行し、失敗や再挑戦を繰り返すことで、課題解決のために、よりよい改善策を粘り強く考える力や自己調整力を育てる。

○学習のゴールや目的を明確にし、地域の人と交流したり友達と一緒に学習したりすることで、相手意識や学習活動のパートナーとしての仲間意識を生み出し、個人の学習の質を高め、同時に集団の学習の質も高める。

## 2 単元の評価規準

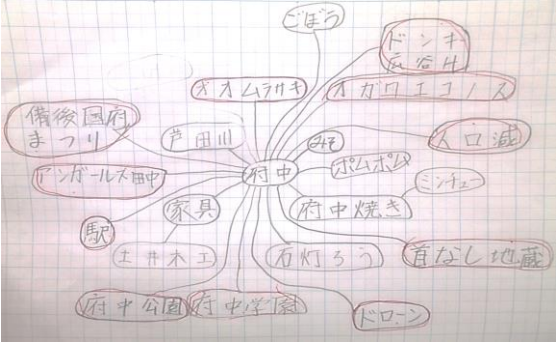








観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
資質・能力 (本校)	知識及び技能	課題発見・解決力	コミュニケーション能力※	粘り強く学習に取り組む態度	自己調整力
本単元	<p>①備後国府は、備後地域の政治・文化・経済の中心地であったことを理解するとともに、国府の伝承に尽力する人々の思いや願いに気付いている。</p> <p>②調査活動を、目的や対象に応じて適切に実施している。</p> <p>③地域の歴史・文化に関する理解は、備後国府とそれを伝承する人々等について探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>①地域文化への関わりを通して感じた関心をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。</p> <p>②課題の解決に必要な情報を、手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。</p> <p>③課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えられている。</p> <p>④相手や目的、場面に応じて、分かりやすく表現している。</p>	<p>⑤情報の内容が分かっている。</p> <p>①自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。</p>	<p>②課題解決に向け、探究活動に進んで取り組もうとする。</p> <p>③地域との関わりの中で自分にできることを見付けようとする。</p>	<p>④課題解決に向けた自分の取組を振り返り、学習を進めようとする。</p>

※ コミュニケーション能力は、「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」の両方にかかるため、「思考・判断・表現」は⑤、「主体的に学習に取り組む態度」は①としている。

## 3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
<p>私たちは、地域の歴史や文化と、どのように関わっていけばよいのだろう。</p>	<p>備後国府の歴史や文化を多くの人に知ってもらうために私たちにできることは、どのようなことがあるだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 備後国府とはどのようなものなのだろうか。</li> <li>• 府中には、どのような歴史や文化があるのだろうか。</li> <li>• 地域の方々は、どのように文化財を保存しているのだろうか。</li> <li>• 歴史・文化の保存活動をされている方々は、どのような思いをもっているのだろうか。</li> </ul>

#### 4 単元と評価の計画（全 60 時間）

次（時数）	ねらい・学習活動	評価			
		知	思	態	評価方法
1 私たちが府中市のためにできることは？ （5）	<p><b>課題の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までの学習を想起し、府中市について知っていることをイメージマップに書き出し、共有する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題探しの探検後、おおまかな学習計画を立てる。</li> </ul>				
<p>「学校のすぐ近くにこんな場所があったんじゃ！すごい！」</p>	  <ul style="list-style-type: none"> <li>・備後国府について、思考ツールを用いて知識の実態を明らかにし、疑問を出しながら課題を設定する。</li> </ul>				<p>「備後国府跡って何じゃろう…？」</p>
2 府中市のルーツを探ろう （20）	<p><b>情報収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備後国府について調べ、情報を収集する。（現地取材、文化財室の方へのインタビュー、発掘体験、PC、パンフレット、歴史民俗博物館等）</li> </ul>				
<p>集めた情報は、思考ツールを用いて整理・分析！</p>	 				
	    <p><b>整理・分析</b></p> <p>「本当に土器が出た！すごい！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ課題のグループに分かれ、情報を整理・分析する。</li> <li>・収集した情報の何を伝えるとよいかを考え、まとめる。</li> </ul> <p><b>情報収集</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級で共通理解を図るために、「備後国府」についてまとめた情報を発表し、共有する。</li> </ul>				





プロジェクトチームごとに、自分たちで各分野の専門家の方々をお呼びして情報収集！

### 整理・分析

- ・収集した情報について交流し、必要な情報を取捨選択する。
- ・中間発表会に向けて準備をする。
- ・中間発表会を行い、アドバイスを整理・分析し、内容を見直す。
- ・目的意識や相手意識をもち、本番に向けて練習をする。
- ・他学年を対象にリハーサルを行う。
- ・他学年や先生方からのアドバイスをもらい、内容の改善案を考える。
- ・各グループで改善する。

### まとめ・表現

- ・備後国府について伝える。

『公園プロジェクト！～備後国府を広めよう～』に関わり、8つの代表チームが府中市役所を訪問し、会議で公園計画の提案



- ・1グループ発表2分、質疑応答3分で発表
- ・会議には府中市長や教育長、大学教授など様々な方が出席
- ・公園のコンセプト“子供から大人まで楽しめる公園”を目指し、スライドや模造紙で提案発表

### 振り返り

- ・自分たちの活動を振り返り、課題が解決されたか検証する。
- ・自分たちの活動の成果があったのか検証するために必要な情報を収集し、集めた情報から活動の成果を検証し、活動の内容や方法について振り返る。
- ・学習を通して、関わってくださった方々へ感謝を伝える方法を考え、実践する。
- ・これまでの活動を振り返り、自分が設定した「なりたい自分」が達成できたか振り返り、今後の地域との関わり方や自己の生き方について考える。

イラストやアピールポイントを入れて、どんな公園にしたかについて分かりやすい提案書を作成！

